

2014-15年末年始販売統計調査報告

<全体概要>

2014-2015年末年始SC販売額対前年比は100.9%であった。レジ客数は前年比98.9%と前年割れだったが、客単価平均は前年比102.6%で前年を上回り、客数減・客単価増となった。

・年末(12/27~31)は前年比101.5%でプラスとなったが、前年は27日が平日(金曜日)だったことが影響している。(27日は前年比115.3%)。12/28~12/31は前年比98.8%であり、バーゲン前の買い控えなどにより衣料品を中心に買い渋り傾向が見受けられ、売上を伸ばせなかったSCが目立った。

・年始(1/1~1/4)は前年比100.3%となった。元旦、2日にかけては雪などの天候不順で客足に影響を受けたとの報告が見られたが、売上としてはほぼ前年並みとなった(1日 前年比100.0%、2日 前年比101.4%)。なお、1月2日は客単価(2,940円)、レジ客数(19,180人)とも期間内のピークになっている。

・客単価平均の分布は、2,500円未満のSCが68.1%だが、4,000円以上のSCも10.3%を占めている。

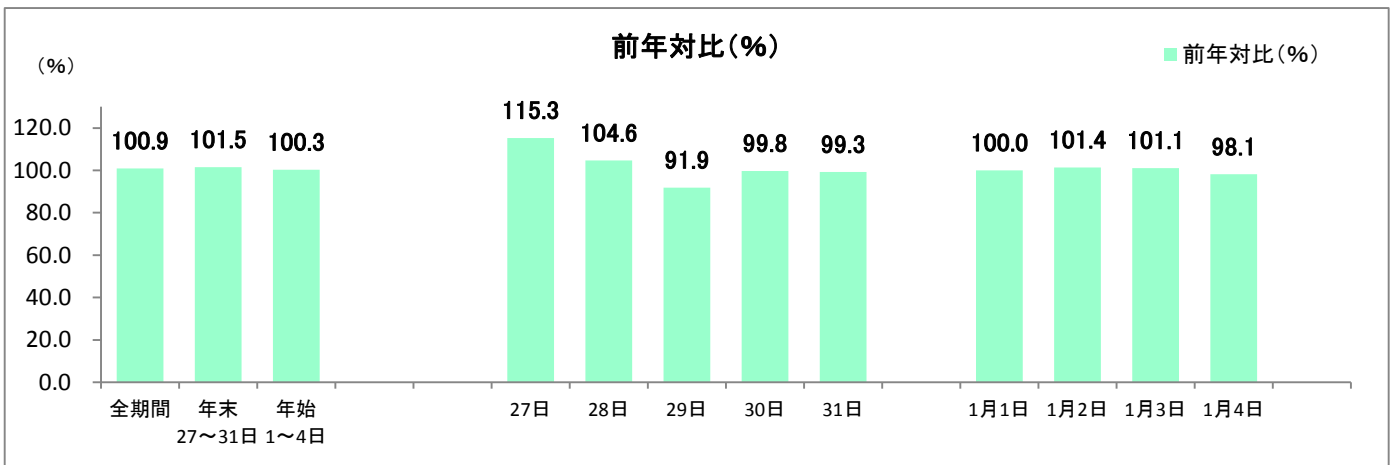
・バーゲン開始日は、2日が39.0%(69SC)、1日が33.3%(59SC)、3日が5.1%(9SC)の順で多く、実施期間は11~15日間が最も多かった。

・好調業種は、飲食、婦人衣料・用品、雑貨の順に多く、不調業種は婦人衣料・用品と回答したSCが多かった。飲食は、年始準備の買い物客やファミリー層の利用が増加し賑わったとの報告が見られた。婦人衣料・用品については、バーゲンが好調に推移したとの報告も見られた一方で、不調の要因として、インナー類は堅調だがアウターの動きが悪く、まとめ買いが少なかったなどの意見も上げられた。

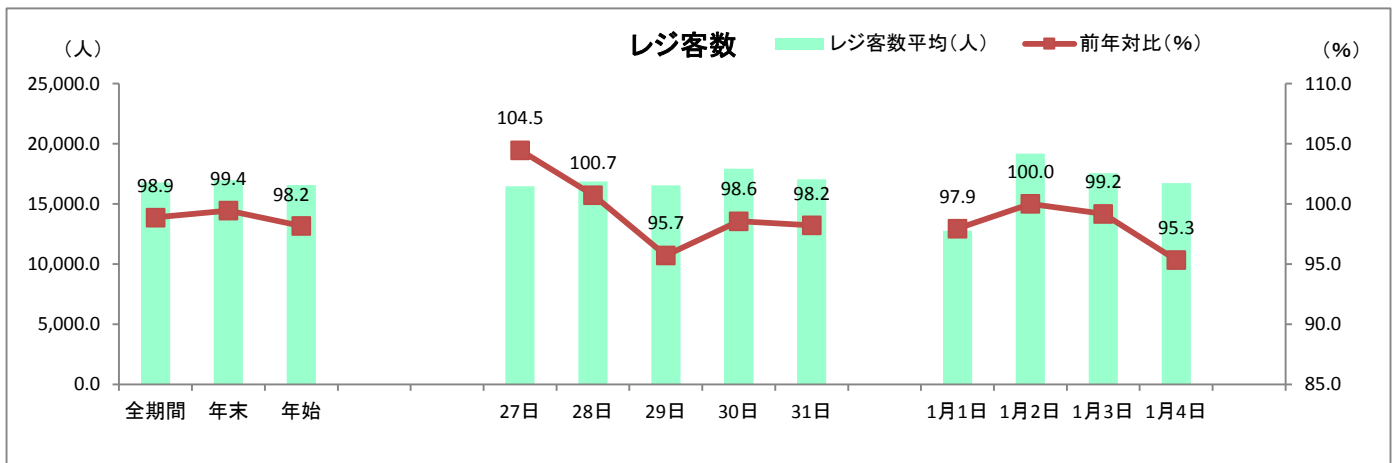
・福袋については、前年を下回り苦戦したSCが多く見られ、参加店舗・販売個数とも減少傾向にあるとの報告もあった。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

■売上高前年対比



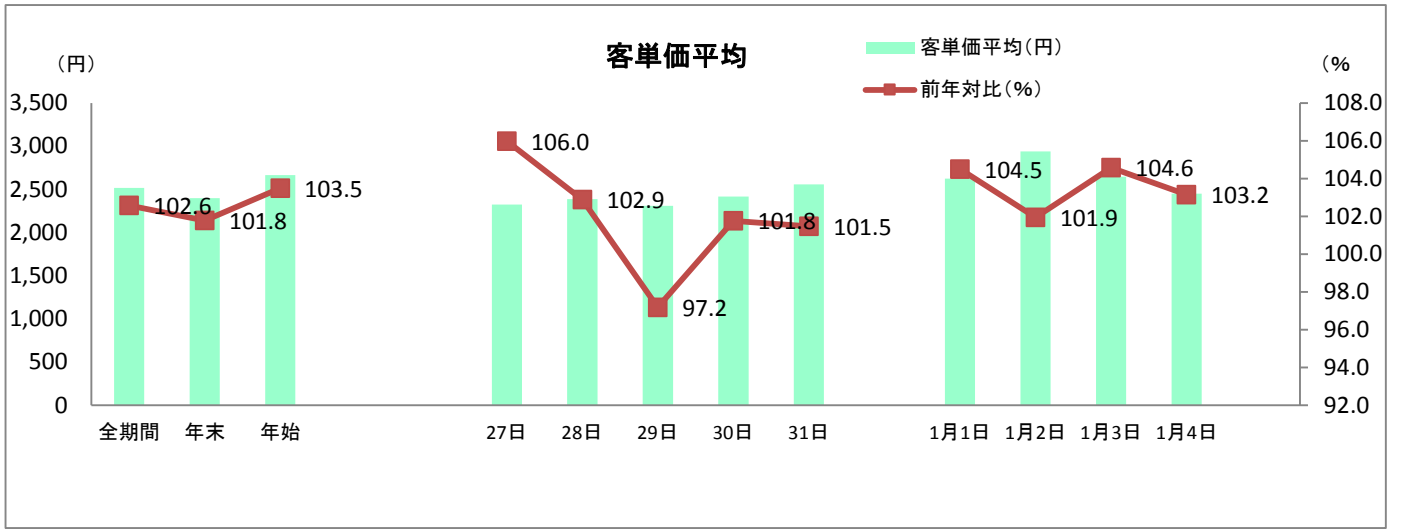
■レジ客数



レジ客数平均(人)

	全期間	年末	年始	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日
2014-15年	16,792	16,973	16,567	16,467	16,871	16,538	17,936	17,053	12,778	19,180	17,564	16,745
2013-14年	16,983	17,069	16,875	15,762	16,747	17,276	18,197	17,363	13,046	19,179	17,709	17,564

■客単価平均



客単価平均(円)

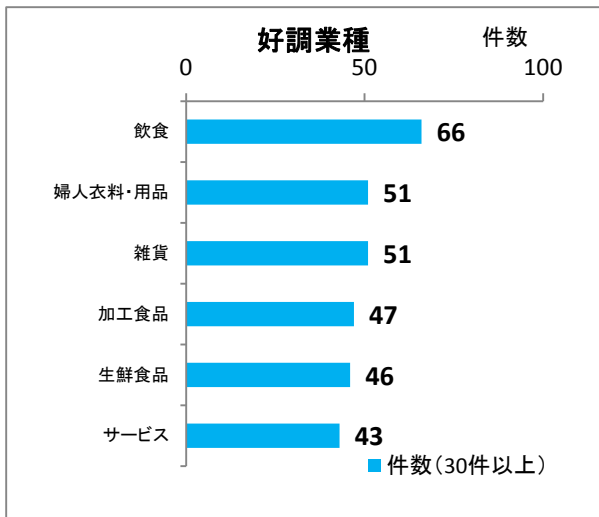
	全期間	年末	年始	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日
2014-15年	2,518	2,399	2,666	2,324	2,388	2,310	2,416	2,559	2,624	2,940	2,648	2,451
2013-14年	2,454	2,357	2,576	2,193	2,321	2,377	2,374	2,522	2,511	2,884	2,532	2,376

■客単価の分布

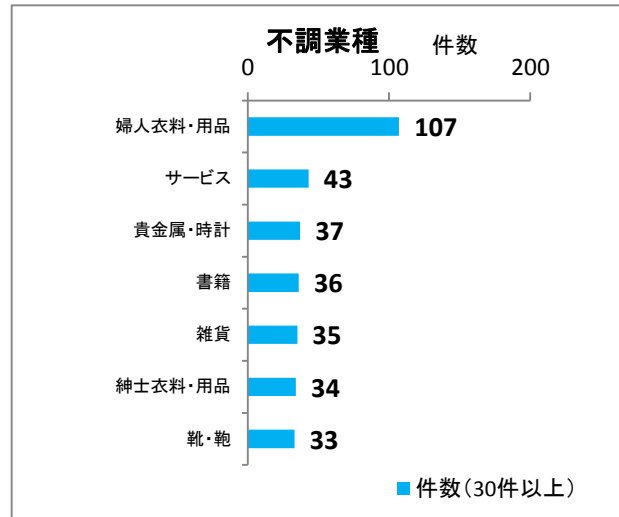


	1499円以下	1500~1749円	1750~1999円	2000~2249円	2250~2499円	2500~2749円	2750~2999円	3000~3249円	3250~3499円	3500~3749円	3750~3999円	4000円以上
全期間	14.6%	14.6%	14.1%	12.7%	12.2%	6.6%	5.6%	6.1%	0.9%	1.9%	0.5%	10.3%
2014年末	18.8%	11.7%	17.8%	11.3%	10.8%	8.0%	3.8%	3.8%	2.3%	1.9%	1.4%	8.5%
2015年始	15.5%	13.1%	10.3%	14.1%	11.3%	10.3%	3.8%	3.8%	2.8%	1.9%	0.9%	12.2%

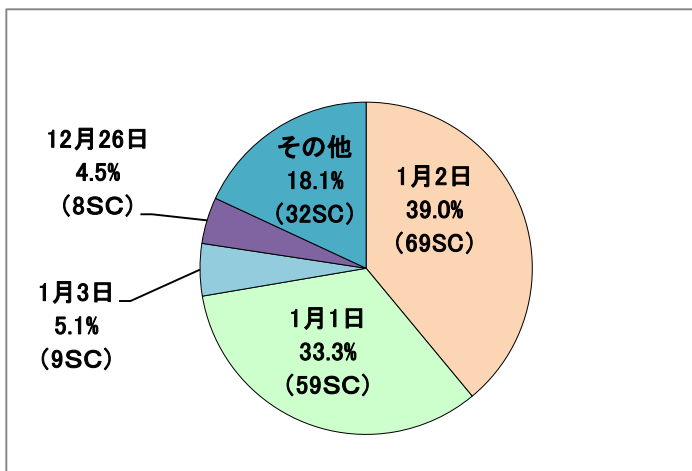
■好調業種



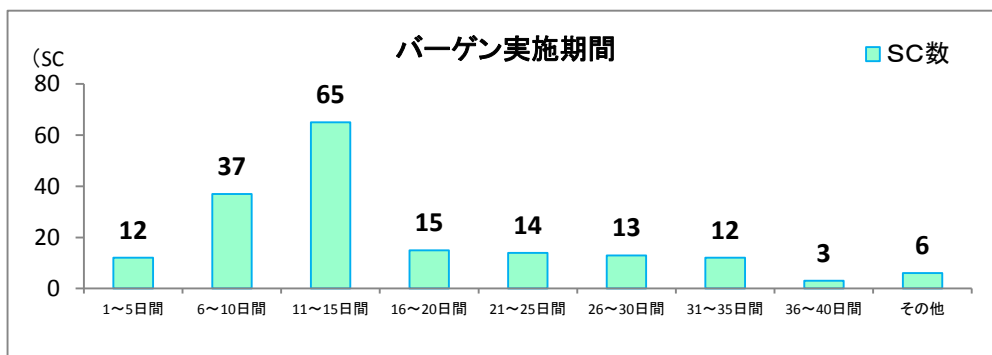
■不調業種



■バーゲン開始日



■バーゲン実施期間



(一社)日本ショッピングセンター協会 調べ
 調査期間: 2015年1月13日~31日
 調査対象数: 247sc